

第1回 東灘区指定管理者選定評価委員会（2026年8月24日） 議事要旨

1. 主な審議の内容

東灘区地域協働課が行った神戸市立御影公会堂の指定管理者による2025年度の管理運営に対する評価について、以下の観点から調査審議を行った。

- ・ 指定管理者の管理運営実績について、適切に採点・評価されているか。
- ・ 指定管理者の管理運営内容を偏りなく評価に反映しているか。

2. 1の結論

選定評価委員会の主な意見は以下のとおりであった。

【意見】

- ・ 利用人数や貸室利用率は施設全体で見ると増加傾向であるが、各部屋の状況を分析し工夫すれば、伸びていくと考えられる。
- ・ 利用者満足度調査の意見を見ると、貸室は21時までとなっているが、21時より前に退室するよう促されたという意見がある。21時までに貸室を原状回復し退室すべきなのか、受付に鍵を返却すべきなのか、退館すべきなのか、職員の認識を統一するためマニュアル化すべき。
- ・ 利用者満足度調査の評価項目のうち「御影郷土資料室・嘉納治五郎記念コーナーの見学の有無・展示内容」について、指定管理者と区役所が連携して展示のPRと内容の検討いただきたい。また、指定管理者としての役割によって評価項目に含めるのか検討いただきたい。

【結論】

審議の結果、所管課の評価は妥当である。